

Fujitsu Tablet STYLISTIC
Fujitsu Tablet ARROWS Tab

**タブレットの取り扱い
についてのご注意**

目次

本書をお読みになる前に	3
使用上のご注意	3
タブレット本体の取り扱い	3
液晶ディスプレイ（タッチパネル）の取り扱い	5
タブレットを持ち運ぶときは	6
スリムキーボード、クレードルの取り扱い	8
バッテリーで運用する際の注意（バッテリーを長持ちさせるには）	9
タブレットの温度上昇に関して	9
落雷のおそれがあるとき	10

本書をお読みになる前に

このたびは弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書をご覧になり、使用上のご注意を必ずお読みください。

お使いの機種によっては、搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

また本書中のイラストや図は、お使いの機種や状況により異なりますので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

本製品をお使いになるうえでは、『取扱説明書』の「安全上のご注意」および『製品ガイド』もあわせてご覧ください。

タブレット本体の取り扱い

- タブレット本体で何らかの一時的なトラブルが発生した場合、ご使用の製品の『製品ガイド（共通編）』（※機種によっては『製品ガイド』）の「トラブルシューティング」をご覧になり、該当するトラブルの解決方法をお試しください。

上記の方法で解決できない場合は、次のリセット方法で解決することがあります。

タブレット使用中は、データを保存してからシャットダウンしたあと、次の「リセット方法」をお試しください。強制終了スイッチまたは各ボタンの位置は、お使いの製品の『製品ガイド（機種別編）』（※機種によっては『製品ガイド』）の「各部名称」をご覧ください。

○リセット方法



- ・必ずタブレットをシャットダウンしてから実行してください。
- ・リセット後、最初にタブレットの電源を入れるときには、必ず AC アダプタを接続した状態で電源ボタンを押してください。

□ Q5 シリーズの場合

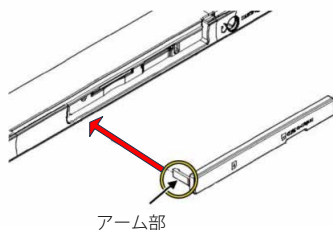
周辺機器および AC アダプタを取り外してから、強制終了スイッチをクリップの先などで 2～3 秒押してください。

□ Q7 シリーズの場合

周辺機器および AC アダプタを取り外してから、ボリュームアップボタンを押しながらショートカットボタンを 4 秒以上押してください。その後、電源 ボタンを押す場合は 20～30 秒お待ちください。

- タブレットを長時間お使いになる場合は、バッテリー切れによるデータ消失などを防ぐため、必ず AC アダプタを接続してください。
- 電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、30 秒以上待つてから電源を入れてください。
- バッテリー残量が空の状態でご使用のタブレットに添付の AC アダプタを接続した直後は、電源ボタンを押しても電源が入らない場合があります。この場合は、1 分程度 AC アダプタを挿した状態でお待ちください。自動的に起動しない場合は、再度電源ボタンを押してください。
- タブレット本体内部の熱を外に逃がすためのファンの音が聞こえることがあります。これらは故障ではありません。これらの動作音は機種によって異なります。

- タブレット本体には静電気に弱い部品が使用されていますので、静電気の発生しやすい場所では使用しないでください。また、使用する前には金属質のものに触れて、静電気を逃がしてください。
- 本タブレットは、内蔵フラッシュメモリをメインボードに組み込んでいます。メインボードが故障や破損した場合は、内蔵フラッシュメモリに記録したデータも失われます。そのような場合に備え、日頃からバックアップをとってください。
- タブレットを投げつけたり、不安定な姿勢で使用しないでください。落下などにより、けがや故障の原因となります。
- タブレット本体を立てたり傾けたりして置かないでください。タブレット本体が倒れて、故障の原因となることがあります。
- 手に持って使用するときは、AC アダプタを取り外してください。またヘッドホンなどのケーブルにもご注意ください。引っかけたり落としたりして、故障・破損・けがの原因となります。
- タブレット本体内部に異物（クリップや金属片、シャープペンシルの芯など）を入れないでください。内部に入ってしまった場合は無理に取り出そうとせず、電源を切って修理に出してください。
- スタイラスペンのペン先を強くこすったり、強い圧力を加えないようにしてください。ペン先が変形する場合があります。
- 取り外したペンの芯などの小さい部品は、お子様の手の届く所に置かないでください。
誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- BIOS のパスワードを設定するときは、設定したパスワードを忘れないよう注意してください。BIOS の管理者パスワードを忘れた場合、再設定には保証期間内においても有償での修理が必要となります。
- 周辺機器は、弊社純正品をお使いください。
- USB 接続機器をタブレット本体に接続するときは、コネクタの形状が合っていることを確認して差し込んでください。誤った形状のものを差し込むと、故障につながるおそれがあります。
- 端子カバー（USB コネクタ、SIM/メモリーカードスロット、DC-IN コネクタ）のアーム部が外れやすい場合があります。これは、お客様が端子カバーを交換できるよう取外し可能な仕様となっているためです。外れた場合は再度タブレット本体の端子カバー用の穴に、アーム部を挿入してください。なお、アーム部が切れてしまった場合、カバーは別途ご購入できます。

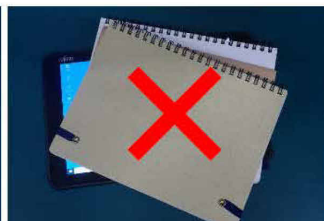
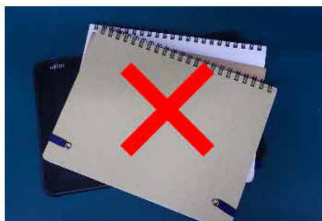
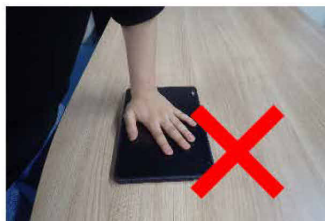


（イラストは機種や状況により異なります。）

- 防水性能を維持するため、異常の有無にかかわらず必ず 2 年に 1 回、部品の交換が必要となります。部品の交換はタブレットをお預かりして有料にて承ります。

液晶ディスプレイ（タッチパネル）の取り扱い

- スリムキーボードを装着時、液晶ディスプレイ（タッチパネル）を開閉する場合は次のような点に注意して取り扱ってください。
 - ・液晶ディスプレイ（タッチパネル）を開くときは、机の上など平らな場所に置いてから両方の手を添えて、液晶ディスプレイ（タッチパネル）の中央付近を持って開いてください。
 - ・液晶ディスプレイ（タッチパネル）を開いたり閉じたりするときは、ゆっくりと衝撃を与えないようにしてください。
 - ・スリムキーボードを装着時、タブレット本体は 180° まで開かず、途中で止まる仕様になっています。途中で止まったら、それ以上無理に開かないでください。変形や破損の原因となります。
 - ・液晶ディスプレイを閉じる際は、キーボード面との間には、物（ペン、書類、マウス・AC アダプタのケーブルなど）を挟まないようご注意ください。
- 液晶ディスプレイ（タッチパネル）は次のようなときに、画面が割れたり、画面にムラが発生する場合があります。
 - ・タブレット本体表面・裏面にかかわらず、液晶ディスプレイ（タッチパネル）に強い圧力を加えたとき
 - ・タブレット本体の側面や裏面を押したり、強い圧力を加えたりしたとき。
 - ・タブレット本体の上に物を載せたとき。
 - ・液晶ディスプレイ（タッチパネル）は、たたいたり強く押したりしないでください。また、引っかいたり先のとがったもので押したりしないでください。



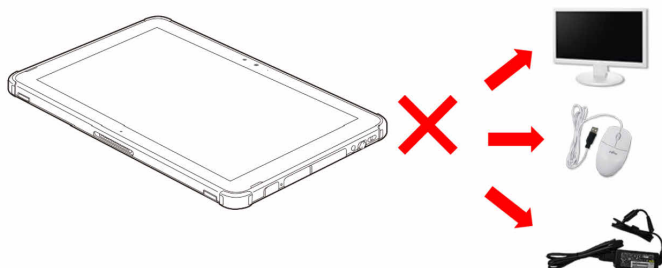
- 液晶ディスプレイ（タッチパネル）の表面は指紋が付きにくい加工が施されています。このため、液晶ディスプレイ（タッチパネル）を下にして置くと、滑りやすくなりますので、ご注意ください。

重要

- 本タブレットは、起動時にタッチパネルの感度調整が行われます。感度調整中にタッチパネルに触れると誤動作する場合があります。タブレットの電源を入れたら、Windows の起動が完了するまでタッチパネルは触らないでください。

タブレットを持ち運ぶときは

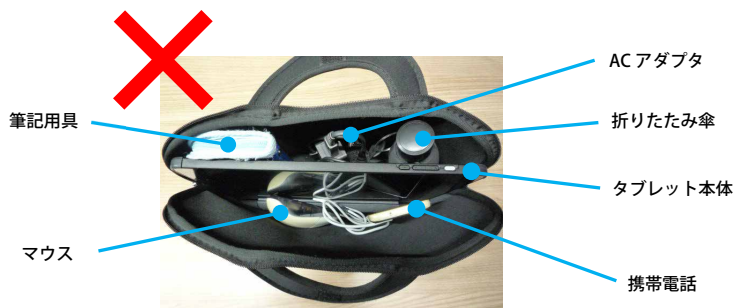
- タブレットを持ち歩くときは、接続している機器（USB マウス、ヘッドホン、ディスプレイ、ポートリピータ、クレードル、AC アダプタなど）はすべて外してください。接続したまま持ち運ぶと、接続部に負荷がかかるなど故障の原因になります。



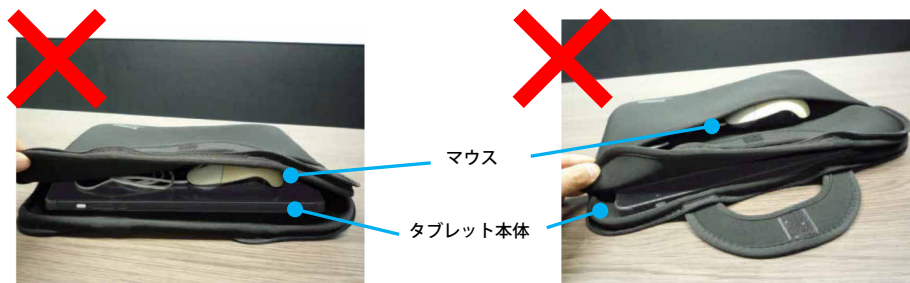
- スマートカードスロットを搭載している機種で、スロットにスマートカードをセットしている場合、必ず取り外してください。スマートカードを取り付けたまま持ち運ぶと、タブレット本体やスマートカードを破損するおそれがあります。
- タブレット本体とスリムキーボードを持ち運ぶときは、必ずドッキングした状態で液晶ディスプレイを閉じてください。
- キーボードや本タブレットの液晶ディスプレイ（タッチパネル）に砂ぼこりなどの汚れが付いた状態で、本体を閉じて持ち運ばないでください。液晶ディスプレイ（タッチパネル）に傷が付く原因となりますので汚れを取り除いてから持ち運んでください。
ほこりや異物などによって液晶ディスプレイ（タッチパネル）が傷つくことを防止するため、スリムキーボードにクロスを添付しています。（※一部の製品では添付されていません。）タブレット本体とスリムキーボードを取り付けて本体を閉じるときには、タブレット本体とスリムキーボードの間にクロスを挟んで使用してください。
- タブレット本体を持ち上げたり移動させたりするときは、両手でつかみ、落とさないようにしてください。片手での持ち運びは、局所的な圧迫や落下の危険性があります。



- 複数台を積み重ねた状態での設置・持ち運びはしないでください。
- タブレット本体や AC アダプタを持ち運ぶ場合は、ぶつけたり落としたりしないでください。かばんなどに入れて衝撃や振動から保護してください。
- タブレットをかばんの中などに入れて携帯する場合は、ボタン、スイッチなどが押されて動作しないように、向きに注意して入れてください。
- タブレット本体をかばんなどに入れて持ち運ぶ場合は、タブレット本体を立てた状態で入れ、タブレット本体に無理な力がかかったり、強い衝撃が伝わったりしないようにしてください。また、AC アダプタを一緒に入れて持ち運ぶと、AC アダプタでタブレット本体を傷つけたり破損したりするおそれがあります。
- かばんに収納する際は、同梱物による局所的な圧迫発生にご注意ください。タブレット本体表面（タッチパネル面）や本体裏面からの局所圧迫によってガラスが割れ、ディスプレイの表示異常、内蔵部品変形・破損が発生する可能性があります。



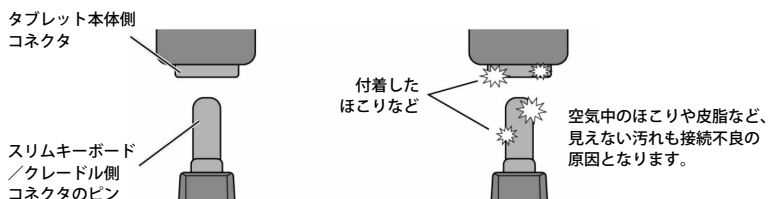
- タブレット用ケースに収納の際は、本製品サイズに合ったものをご利用いただき、マウス・AC アダプタ・モバイルルーター等との同時収納による圧迫にご注意ください。タブレット本体表面（タッチパネル面）からの局所圧迫によってガラスが割れ、タブレット本体裏面からの局所圧迫では内蔵部品変形・破損の危険性があります。



- タブレット本体を自動車内に設置した状態での使用は、保証しておりません。
- 自転車やバイクのカゴなどにタブレット本体を直接載せて運ばないでください。かばん、タブレット用ケースなどに入れて持ち運んでください。

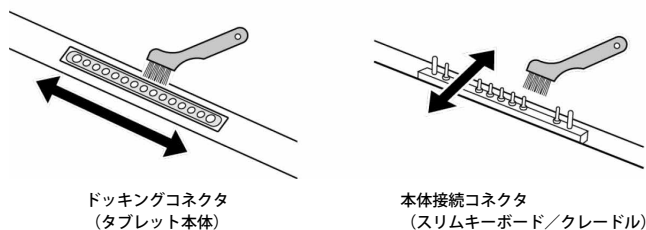
スリムキーボード、クレードルの取り扱い

- スリムキーボード接続時にタッチパネルを操作する場合、片方の手で画面を支えながら操作してください。
- タブレット本体とスリムキーボードやクレードルの接続コネクタは、わずかな汚れの付着でもスリムキーボードやクレードルが使用できない、スリムキーボードやクレードルから充電されないなどの事象が発生することがあります。汚れる前に定期的に添付のブラシおよび市販の綿棒で清掃してください。



・添付のブラシによる清掃のしかた

矢印方向に 10 往復程度ブラシを動かしてください。

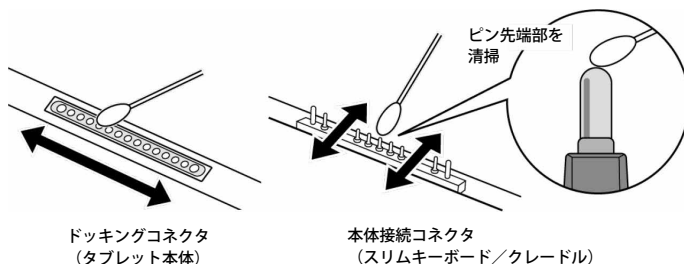


・綿棒による清掃のしかた

綿棒をコネクタに押し当て、矢印方向に 5 往復程度こすりながらコネクタ全体を清掃してください。

タブレット本体 : コネクタ部全体を左右に 5 往復程度

スリムキーボード、クレードル : ピン先端の汚れが取れるように、ピンごとに前後に 5 往復程度
全体をこすった後は清掃用ブラシを使って全体を払ってください。



重要

- ボールペンやつまようじなど硬いもので清掃すると、コネクタ表面に傷が付き、接続不良の原因となります。必ず添付の専用ブラシや綿棒を使用してください。
 - スリムキーボードやクレードルのコネクタ端子は、綿棒を強く押し付けたり、横方向に強くこすったりすると変形する恐れがありますので、ご注意ください。
 - 綿棒の先は濡らさず、乾いた状態のもので清掃してください。（アルコールなどは付けしないでください。）
 - 清掃で綿棒の先が汚れたら、新しいものに交換してください。
- 接続コネクタ部は手で触れないでください。汚れが付着する原因となります。

バッテリーで運用する際の注意（バッテリーを長持ちさせるには）

FMWORLD に掲載の「正しく使ってバッテリーを長持ちさせる」をご覧ください。

<https://www.fmworld.net/biz/fmv/support/qalist/battery/>

次の内容について掲載しております。

- ・バッテリーの寿命
- ・バッテリー消耗の要因
- ・バッテリー消耗状態の確認
- ・バッテリーの消耗状態・残量表示
- ・バッテリーを長持ちさせるには

タブレットの温度上昇に関して

- 長時間使用すると、タブレット表面の温度が上昇して、温かく感じるがありますが、故障ではありません。これは、タブレット内部の温度が一定以上になると、装置から放熱するためです。
- タブレット本体および AC アダプタは、使用中に熱をもつことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがあります。ご注意ください。
- スリムキーボードやフォリオカバーをご使用の時に、カバーを閉じた時の動作を「何もしない」設定にしている場合は、電源が入っている状態で液晶ディスプレイを閉じないでください。放熱が妨げられ、故障の原因となります。
- 台所などの油を使用する場所の近くや埃が多い場所では、タブレットを使わないでください。油分や埃がタブレット内部に入って CPU ファンに付着し、放熱性能を低下させる可能性があります。
- タブレットの表面、裏面は熱くなります。ひざの上など長時間触れたままにすると、低温やけどの原因になります。
- 排気孔周辺は熱くなりますので、使用時には触れないでください。
- 使用するアプリによっては、タブレット本体が多少熱く感じられることがあります。長時間使用する場合には低温やけどを起こす可能性がありますので、ご注意ください。

落雷のおそれがあるとき

落雷の可能性がある場合は、タブレットの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておくことをお勧めします。また、雷が鳴り出したら、タブレット本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

落雷には、直撃雷と誘導雷の２種類ありますが、タブレットの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。タブレットの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LAN ケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いても本タブレットを保護できないことがあります。

場合によっては、タブレット本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。落雷によるタブレット本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright Fujitsu Limited 2024

タブレットの取り扱いについてのご注意 B5FL-1341-01 Z0-02 発行日：2024 年 4 月 発行責任：富士通株式会社 〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-1	●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。 ●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。 ●無断転載を禁じます。
--	---